

# 施設配置の基本方針案

## 1. 検討の前提

中野区の施設は、施設白書でも明らかなように、23区の中でも相対的に数が多く、その大半が直営で単独の目的のために設置されたものが多いため、区の財源、職員の大きな割合がそこに投入されている。今後、大多数の施設が老朽化し、その施設の維持と運営に関する負担は大幅に増加することが見込まれている。

区民のライフスタイルの個別化・多様化がすすみ、公共施設やサービスに対する区民のニーズは大きく変化してきている。少子高齢化による人口構成の変化も大きく、子どもや高齢者対象の施設やサービスなど、ニーズの増加・変化に応えることのできないものも増えてきている。区では、施設数は多いものの、区民が求める施設・サービスは不足しているという需給のアンバランスが生じている。

行政の専管領域と見られていた公共サービスにも、民間事業者やNPOなど多様な供給主体が参入し、創意・工夫をしながら事業・施設の運営に取り組んでいる。地域では、関心をもつテーマについて、行政の対応を待つのではなく、区民グループが主体的に活動を展開するなどの動きがある。これらの活動は、地域における人々の連携を強め、地域を豊かにしていく大きな力となっていくことも期待されている。

情報技術の活用などにより非施設サービスへの転換を進めるとともに、新たに制度化された指定管理者制度の活用等、NPOや区民活動など民間の力を活用した施設運営、用地活用による民設民営の施設整備手法などが必要になっている。

## 2. 検討の視点 ～ゼロベースで考える～

真に必要なとされるサービスを見極め、それを区民に提供していくためにどのような施設が必要であるかを、ゼロベースの視点で検討する。

(1) 今ある区施設を一旦ないものとする。

(2) 新たな中野区基本構想が示す「中野のまちの将来像」を実現するために求められ施設の機能を明らかにする。

(3) この機能の実現のため、以下の考え方を基本として区有施設の再配置を行う。

- 民間で広範に生まれる公共サービス提供の力を積極的に活用する。
- 情報技術の進展などを最大限に生かし非施設サービスへの展開を進める。
- 施設機能の複合化・多機能化、施設空間の時間的区分により、同一施設の最大活用を図る。
- 施設相互間の連携によって新たなサービスを生み出す。
- 民間施設との複合化、連携も視野に入れる。

### 3. 求められる施設の機能

新たな基本構想では、中野区が直面している様々な課題と危機に対して、これまでのやり方を続けるのではなく、持続可能な未来に向かって新しいあり方を描く。その大筋の考え方は「基礎となる考え方」(案)「基本構想の構成案」に示してあるが、これを実現していくために求められる施設機能を以下のとおり整理する。

#### 将来必要な機能

機能は必ずしも区が直接提供するものではない。  
また、施設によらないで提供される機能もある

乳幼児を保育するための機能

乳幼児の成長・発達に関する相談をするための機能

遊びを通じた乳幼児親子の子育て支援の機能

放課後児童の保護や遊ぶための機能

児童・生徒が健全に成長していくために必要な相談するための機能

乳幼児の療育指導をするための機能

母子世帯の自立支援と生活の安定のための機能

子どもの虐待に対して発見・相談・支援が地域で行われる機能

DV被害者の女性の自立を支援するための機能

男女共同参画社会を推進するための機能

小学生が活発に創造性豊かに遊ぶための機能

- 中学生や高校生が自由に仲間づくりや交流の機会を広げるための機能
- 幼児に対する教育と保育を一体的に提供する機能
- 在宅での介護を受けることが困難な要介護者（虚弱高齢者）が、現在の状況を維持、生活を確保するための機能
- 高齢者、障害者が居宅で日常生活を営めるよう機能回復訓練等を行うための機能
- 高齢者が地域の中で、健康を維持し、明るく生活するための機能
- 障害者に生活指導、作業指導を行うための機能
- 保健サービスの提供と福祉に関する相談支援を行うための機能
- 高齢者、障害者が地域で共同生活を営む機能
- 身近な地域で、福祉サービスの利用者の権利を擁護するための機能
- 住宅困窮世帯等が安心して暮らし続けられるための機能
- 区民が地域の中で自主的な活動をするための機能
- 廃棄物の収集、運搬等清掃作業の運営管理を行う機能
- 区民が公共・公益的活動を行うための場を提供し支援する機能
- 起業家を育成するための機能
- リサイクルのストックヤード機能
- 高齢者、障害者、女性、若者の職業教育及び就労の機会を生み出す機能
- 届出・証明など窓口サービス機能
- 幼児・児童・生徒を教育する機能
- 豊かな情操をはぐくむとともに知力を高め、社会性を身につけさせる機能
- 能
- 身近な地域で、多様で充実した市民スポーツを行うための機能
- 文化・芸術活動（鑑賞・発表）をするための機能
- 良質な知的資産や平和関連の資料を収集・保管し区民の閲覧・鑑賞に供するための機能
- みどりに親しみ、やすらぎとゆとりを感じ憩うための機能
- 区民が安全に歩行できる空間を確保する機能
- 災害時に一時的な保護・安全を確保する機能
- 区の事務所等公用のための機能

#### 4 . 不用となる土地・施設の活用

現在使われている施設のうち、新たな施設配置を行った結果、不用となる施設（土地・建物）については、可能な限り区の財産として保有しながら、その活用を図る。また、計画があっても現在まで整備されていない土地、当初の予定が変更になり現在用途が定まっていない施設などについても、改めて精査し、有効活用を図る。

（活用例）

- ・他の区有施設に転用
  - ・民間に貸与（無償・有償）し、施設を誘導
  - ・民間に賃貸
  - ・売却

## 新たな施設展開の検討例

施設配置の基本方針（案）の考え方にたって、新たに設ける施設、機能転換を図る施設の例を以下に示す。なお、これらは現時点での検討例であり、実現可能性も含め、今後検討していくための素材である。

### （１） 総合的な公共サービスセンター

#### 【施設イメージ】

- ・ 多様な区民ニーズに応え、施設機能の複合化、多機能化を図り、区民相互のサービス提供により、新しい公共サービスを提供する地域拠点
- ・ アクティブな動機をもった区民が交じり合い融合しながら、利用者と提供者が一体となって新たな価値を創造し生み出す場
- ・ メリットとして、サービス拠点としての集積性、区民相互の融合による地域の活力・活性化、市場形成の可能性などが見込まれる

#### 【想定される機能】

- ・ 地域で在宅介護を支援し、保健サービスの提供と福祉に関する相談支援を行うための機能
- ・ 地域で乳幼児が遊んだり親の子育てを支援するための機能
- ・ 地域で子どもの虐待に対して発見・相談・支援が行われる機能
- ・ 地域で福祉サービスの利用者の権利を擁護するための機能
- ・ 地域で区民が公共・公益的活動を行うための場を提供し支援する機能
- ・ 起業家を育成するための機能
- ・ 地域の活動を支援する事務所機能

### （２） 地域スポーツ・健康づくり施設

#### 【施設イメージ】

- ・ 生涯スポーツ社会の実現をめざし、区民の多様なスポーツニーズに応じた活動ができる「地域スポーツクラブ」が日常生活圏としての地域の自主運営で展開され、「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツを楽しみ、健康づくりにも寄与する場

#### 【想定される機能】

- ・ 身近な地域で、区民の主体となって多様なスポーツ活動を行うための機能

### （３） 小中学校

#### 【施設イメージ】

- ・ 小規模化のデメリットを解消し、集団教育を前提とした学校の活性化を図る。

- ・ 適正配置を実現し、より効果の高い教育を行う場

【想定される機能】

- ・ 児童、生徒を教育する機能
- ・ 豊かな情操をはぐくむとともに知力を高め、社会性を身につけさせる機能

**(4) 新しい子どもの活動場所、新しい児童館、青少年の活動場所**

【施設イメージ】

- ・ 学校と地域を融合し、小学校に児童館機能を取り込む。学校と地域が連携し子どもの遊び場の確保
- ・ 子どもの健全育成を地域全体で見守り支える場
- ・ 青少年の活動する場

【想定される機能】

- ・ 新型児童館 A：放課後児童の保護及び遊ぶための機能（学校施設活用）
- ・ 新型児童館 B：子どもの創造性を育む機能、子育てリーダーを育成する機能
- ・ 新型児童館 C：中高生が自由に仲間づくりや交流の機会を広げるための機能

**(5) 地域センター**

【施設イメージ】

- ・ 地域センターはすべて「地域活動センター」に転換する
- ・ 証明発行など窓口機能は、新たな提供手段によって代替・拡充する。そのひとつとして、「地域活動センター」数箇所に窓口機能を併設する。
- ・ 地域活動センターの運営は地域団体に管理委託し必要に応じ自主事業も行う

【想定される機能】

- ・ 区民が地域のなかで自主的な活動を行うための機能
- ・ 区民が公共・公益的な活動を行うための機能

**(6) 学校図書室**

【施設イメージ】

- ・ 図書館サービスを提供する拠点として学校図書室を位置づけ、連携を図り一般利用を可能とする

【想定される機能】

- ・ 良質な知的資産を収集・保管し区民に閲覧させるための機能

**(7) 公園などの緑地空間**

【施設イメージ】

- ・ 憩いの場として、区民が利用できるよう、公園などの再配置や統合を行い規模の拡大や機能改善を図る

- ・ 自然に親しむ場
- 【想定される機能】
- ・ 安らぎや憩いの機能
  - ・ 地域交流の機能